

平成 31 年度（令和元年度） 全国学力・学習状況調査について

（本調査は、全国悉皆調査で第 6 学年児童を対象に 4 月に実施されたもの）

1 学力調査に関する結果の概要

【国 語】

- 目的や意図に応じて、自分の考えの根拠を明確にし、まとめて書く力が身に付いている。
- 報告する文章において、図表やグラフなどを用いた目的を捉える力が身に付いている。
- 漢字を文の中で正しく使うことに課題がある。
- 話し手の意図を捉えながら聞いたり、自分の考えをまとめたりすることに課題がある。

【算 数】

- 整数と小数の計算において、加法・乗法混合の計算の力が身に付いている。
- 問題を解くために必要な、伴って変わる二つの数量を見出す力が身に付いている。
- 除法の式の意味の理解に課題が見られる。

2 児童質問紙に関する結果の概要

- 地域の行事に参加することができている。
- 学級活動での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組む力が身に付いている。
- 決めたことに協力して取り組み、満足感を得ることに課題がある。

3 取組についての評価

(1) 教科に関する取組

① 効果があった取組

- ・算数科の重点単元における少人数分割、T T 指導の実施
- ・指導方法工夫改善教員を中心とした補充学習等の個別支援
- ・指導方法工夫改善教員や担任外教員等による補充学習

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・表現する場面や交流活動を位置付けた授業づくり
- ・朝の基礎タイム（国語タイム・算数タイム）の充実

(2) 児童質問紙の内容に関する取組

① 効果があった取組

- ・地域をテーマにした総合的な学習の時間及びふるさと学習のカリキュラム化
- ・10 の名人（ノート名人、発表名人等）の取組【一貴山版鍛ほめメソッド】

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・集団で取り組むよさ（団結力・協力・達成感等）を感じさせる学校行事等の取組
- ・家族とともに規則正しい生活習慣を見直すための PTA と連携した「I ファミリー」（早寝早起朝ごはん、あいさつ運動、ノーゲーム・ノースマホタブレットの日等）の取組